

学校経営概要

三浦市で育てたい子ども像

○心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな子ども

現在、そして将来にわたって、「人として自らを信じ、向上心をもって生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○郷土と日本の歴史、経済、社会、文化を理解し、郷土三浦を愛する子ども

自分が置かれている状況を肯定的にとらえ、「三浦の魅力を心に温めて生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○世界の国々を理解し、すべての国民と仲よくできる国際性をもった子ども

自己中心的に物事をとらえるのではなく、「他も尊重しながら生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。



育てたい子ども像

I、「みんななかよく、思いやりのある子」

生命を大切にし、自他を思いやる心を持ち、協力して生活を向上させようとする態度や心情を育てる。

II、「すすんで学び、よく考え、行動する子」

自分の課題を見つけ、よく考え、正しく判断し、創造的に解決しようとする、主体的な態度を育てる。

III、「心も体もたくましく、最後までやりとげる子」

自立や自製の心、強い意志と実践力を持ち、自らすすんで健康な体力づくりに努める能力や態度を育てる。



学校経営に関する基本方針

- ①豊かな社会性を育てる
- ②豊かな学力を身につける
- ③主体性を育てる
- ④先生が学ぶ
- ⑤よく見える情報発信



本年度の重点

本年度の目標 ～つながりあい、ひろげあう学校～

①読む力、書く力の獲得と定着

読書をはじめとし楽しさや興味をもって多くの言葉と接し、またその言葉を使う機会を日常の中で増やすことで言語力の向上をめざす。

②自己表現力と互いを認める関係づくり

社会性を育てる観点からの活動の目標や評価を明確にし、段階的な成長を促す。
統合を見越して、地域や南下浦小学校とのつながりが広がり深まるようにする。

③主体性につながる指導

指導計画の中に、その活動において主体性をどうとらえているのかについての考え方を示す。またそれを全職員で共有することで、6年間を見通して継続的に主体性が育つような体制を整える。